

■ Society 5.0の本格実装に向け、CSTIが司令塔機能を発揮し、データ連携基盤の取組みを推進

■ 「人工知能」とビッグデータを共有・活用する「データ連携基盤」はSociety 5.0実現のための両輪

※ 欧米は、政府公共データを中心に様々なデータが繋がる仕組みを構築しつつあり、「データ連携大競争時代」が到来

※ 日本は、各省、産業界の取り組むデータベースがバラバラなため、データ連携の仕組みの構築が急務

人工知能

未来投資会議
(平成28年4月)

↓ 総理指示に基づき設置

人工知能技術戦略会議

※人工知能戦略の司令塔

- ◆ 議長：安西祐一郎
(日本学術振興会)
- ◆ 顧問：久間和生
(CSTI常勤議員)
- ◆ 事務局：内閣府CSTI (とりまとめ)
総、文、経、厚、農、国
(事業省庁を含めた6省連携に発展拡大)

実施項目

- ・産業化ロードマップ
- ・研究開発目標
- ・人材、制度、振興支援関連等

ビッグデータ
を活用

人工知能
を搭載

データ連携基盤

- CSTIがSIP/PRISMを中核に、分野毎、分野間のビッグデータ連携を推進
- CSTIが司令塔となり、IT戦略本部と連携し、各省、産業界の取組を糾合

安全・安心

生産性革命

人生100年時代

Society 5.0
実装イメージ

・インフラ維持管理
(2020年までに
維持管理の
20%高効率化)
・防災・減災

・物流 (2020年に
高速道路でのトラック隊列走行)
・農業 (コメの生産費5割削減)
・建設

・健康・医療・介護
(2020年からデータ利活用
基盤の本格稼働)
・教育、人材育成

分野間データ
連携基盤

『言葉と意味 (=データ)』を共通化・連結

- ・欲しいデータがどこにあるか見つけることができる
- ・分野横断でデータを一括して入手することができる

分野毎
データ基盤

自動運転
データ

インフラ・防災
データ

農業
データ

ものづくり
データ

健康・医療・
介護
データ

その他分野

電子行政
観光
気象
衛星
...

センサー
データ



- 世界に先駆けて人工知能を搭載し、あらゆる分野のデータが垣根を越えて繋がるデータ連携基盤を構築
- あらゆる分野から融合したビッグデータと人工知能を活用し、安全・安心、生産性革命、人生100年時代に大きく貢献